

誰も置き去りにしない社会へ

杉山あつし だより

県政へのご意見をお寄せください

発行者：杉山あつし（静岡県議会議員）
第19号（2024年1月17日発行）

静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13

電話 054-282-0143 FAX 054-282-0143



静岡県議会12月定例会で物価高騰対策の補正予算成立

12月に入り暖かい日が続いていたものの、自宅周辺・富士見台では12/18には一気に冷え込み、初氷を確認しました。（脱炭素・温暖化対策の必要性を感じています。）

12/21に12月県議会定例会が終了しました。スルガ銀行の関連会社から譲渡の申し出がある「ヴァンジ彫刻庭園美術館」に関する質問や、9月定例会における三島市の国有地への「東アジア文化都市の拠点」建設に関する知事発言に対する質問が多い議会でした。※12/21の最終日に物価高騰対策の補正予算を可決して閉会しました。



公明党議員が代表質問で、知事に対し「人生最後まで暮らすとしたら静岡県か」と質問しましたが、言い換えれば「死に場所はどこですか。どこで亡くなりますか」という質問

です。他県出身の知事への皮肉を含めた質問であり、大変失礼だと思います。報道でも問題視されていました。問題発言以降、知事を小バカにする質問が目立ち、残念です。知事からは生涯現役のつもりでがんばる旨の答弁がありました。

自民党議員の質問の中で「浜岡原発が長期に運転停止となり、経験豊かな技術者が不足している。審査に合格しても動かす情勢ではない」との話が出されました。

子育て支援の質問では、静岡市がすでに2人目の保育料無償化を実施している。県が主体的に全県に広げるべき。離婚届の受付時に、子どもの権利である養育費の確保・取り決めを行政として確認する制度の創設の必要性などが取り上げられました。県の子育て支援政策が充実するよう行動していきます。

1月1日に発生した能登半島地震でお亡くなりになった方々に対して、お悔やみ申し上げますとともに、被災した方々に対してお見舞申し上げます。



県議会文化観光委員会で質問 12/14

- 東京、大阪、兵庫での公立大学無償化の動きに対する静岡県の対応
- 県内大学生の学びの保障、経済的問題を相談できる体制強化
- 学校法人格のない外国人学校、フリースクール等への支援
- 静岡空港支援は縮小を検討すべき。支援は多岐にわたり、効果にも疑問
- 東静岡駅の公共施設建設に伴う静岡市との連携強化、駐車場確保 等を質問。

いずれの答弁にも満足はしていませんが、引き続き根気よく県に要請していきます。

4年連続シニア人気No.1 嬉野温泉視察

文化観光委員会県外視察。10月18日は佐賀県の嬉野市観光協会と佐賀嬉野バリアフリーツアーセンターを視察。鉄道のなかつた嬉野温泉は、1年前西九州新幹線の駅ができる、また「日本三大美人の湯」としても有名。

バリアフリーツアーセンターの小原健史会長は元全国旅館組合連合会会長。「これから宿泊施設は増加する高齢者、障害者を意識する必要がある」「高齢者や障害者は家族一行での宿泊が多く、経営上も成り立つ。どんな重度障害者でも受け入れる旅館を目指して、喜ばれている」「楽天トラベルで4年連続シニア人気第一位の温泉地となった」ことなど、これから観光のヒントとなるお話をたくさんお聞きしました。

ふじのくに交流会（東京）

首都圏で活躍している静岡県ゆかりの方と県内企業の方、静岡県内の自治体関係者が集う集会・懇親会に参加しました。太田康雄・森町長、大村慎一・元副知事さんらと話すことができました。(10/23)



福島こども支援募金活動

本会議4日目の昼休みに募金活動のお手伝いを行いました。3ヶ月ごとの11日に開催しています。次回は、3月11日です。

(12/11)

従来の保険証の存続を求める 10.21決起集会

マイナカードは任意取得であり、従来の保険証を廃止し「マイナ保険証」を実質義務化することは矛盾しています。静岡市議会は「マイナ保険証の実質延期を求める意見書」を採択。杉山からは県でトラブルとなった身体障害者手帳とマイナカードの紐付けの問題点と戸籍法改正で全国民の名前のふりがな確認作業が始まり、自治体は大変になることなどを報告しました。(10/21)



青森・六ヶ所村核燃サイクル施設視察

核燃サイクル施設では、「高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター」と「使用済み燃料受入貯蔵施設」があり、建物内で説明を受けました。中心施設となる再処理工場は、1993年に着工しましたが、様々なトラブルが相次ぎ、竣工は26回延期されています。建設費は2017年7月までに約2兆9,500億円まで膨れ上がっています。これだけのお金をかける必要性には疑問です。まだ建設場所が決まっていない最終処分施設にも莫大な建設費がかかることが想定されます。(10/24)



辺野古基地問題 国の代執行に反対するアピール行動

沖縄県辺野古・新基地建設に関する代執行訴訟で、デニー・沖縄県知事を支持する記者会見に臨み、「代執行は地方自治を軽視、沖縄県の負担軽減を求める」アピール文を説明しました。沖縄県辺野古・新基地建設は「V字滑走路」に象徴されるように基地強化であり、見つかった軟弱地盤を無視した建設です。国に対して再考が求められるものなのに、県の権限を停止して、国の権限で工事を進めることは認められません。(10/30)

静岡市の国要望の説明会

学校給食の無償化要望では、まず親の負担軽減策として給食日数増などを検討してほしいこと。重点支援要望のスマートインターIC周辺の土地区画整理事業については、1期工区で土地が売れ残っていますが、土地の規制が外れ、産廃焼却場など何でも造られる可能性があることなど、問題点を指摘させていただきました。(11/2)

第4回もったいない市でボランティア

午前が不用品の持ち込み、午後はその不用品の持ち帰りで、リユース・ゴミ減量の取り組みです。駐車場整理を担当。家からはキャットフード、シャツ類と靴下の未使用品とバーベキューSETを持ち込みました。半年ごと開催されています。(11/18)



予告
第5回
もったいない市
5月18日
(土)
(予定)

県議会でPFAS学習会を主催

会派の県議会議員の学習会として開催。県議8人以外にも静岡市議(5人)や静岡市内の支援者の方も参加しました。講師の諸永裕司氏(元朝日新聞記者)から体内の時限爆弾、健康被害が見えづらいなどのPFASの性質説明から、清水区で起きている旧三井デュポンの汚染状況や元従業員の健康問題、米軍や自衛隊基地の泡消火剤訓練での汚染の話をいただきました。横田基地周辺の汚染では、国分寺市の市民の血中濃度が最も高かったこと。規制が目標扱いの「推進管理目標設定項目」から遵守・検査義務がある「水質基準項目」に2024年2月に変わるか注目すべきなどの話を聞くことができました。(11/7)

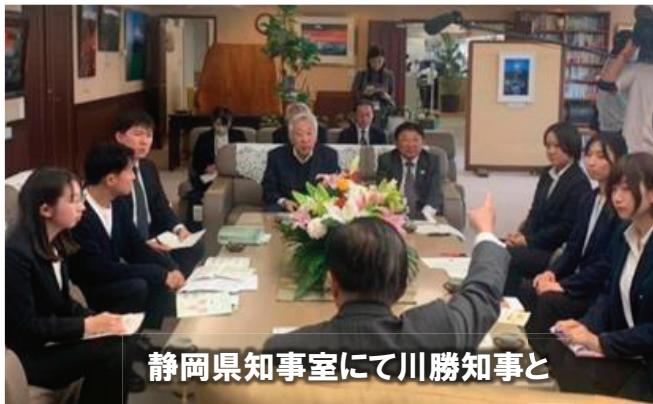
静岡沖縄を語る会 PFAS学習会に参加・報告

沖縄を語る会・静岡主催のPFAS学習会にも参加。米軍基地の泡消火剤によるPFAS汚染で基地内での調査ができない状況や水道水の汚染が続く不安などを訴えた映画を見てから意見交換となりました。杉山からは県議会でPFASを取り上げた経過から答弁などで調査を約束した県の対応を報告しました。(12/2)



県大生・学生助けたいんじゃーの 川勝平太県知事への要望に立会

生活に困窮する学生がコロナ後も顕在化しています。静岡県立大学の学生有志が立ち上げた「学生助けたいんじゃー」は、生活に困窮した学生たちに食糧を渡しながら、状況や困りごとを聞いたり、スクールソーシャルワーカーの大学設置を求める活動を行っています。川勝県知事からは、食糧支援の食べ物力カフェの活動を評価していただきました。また県として受け止め、やれることはしていきたいとの前向きな話しがありました。杉山も根気よく取り組んでいきます。テレビ取材が3社あるなど注目を集めました。(11/24)



難波喬司静岡市長と 市政の課題で意見交換

静岡市選出、ふじのくに県民クラブの県議3人（駿河区・杉山、葵区・小長井、清水区・松井）が難波市長との意見交換会を行いました。学校給食無償化の代替策として給食日数を増やしてほしい。明らかになってきた清水区三保のPFAS汚染の今後の対応、清水区の救急医療体制の立て直し、巴川や大谷川の水害対策の強化など、有意義な意見交換ができました。特に水害対策での調整池の運用改善、清水区救急医療体制の強化などで難波市長の具体的な考えを聞くことができました。(12/22)



杉山あつし プロフィール

1962年 10月31日生(駿河区南町生まれ)
静岡学園幼稚園・富士見小学校・高松中学校卒業
1981年 静岡東高校卒業(16期生)
静岡県職員に採用(民生福祉・税務に従事)
(財務事務所、中部民生事務所、こども家庭相談センターに勤務)
2012年 静岡県職員組合専従役員(11年7か月) 49歳時に県を退職
2019年 県議会議員選挙(駿河区)に当選 現在2期目
2020年 産業委員会副委員長
2023年 文化観光委員会副委員長
会派「ふじのくに県民クラブ」、静岡東高校後援会理事



■杉山あつし事務所

静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13
TEL FAX:054-282-0143
携帯電話:090-1279-1443
MAIL:kycdh891@yahoo.co.jp



討議資料